

# 令和2年度学校評価報告書

令和3年3月31日

## 1 本年度の重点目標

- 1 自ら学ぶ意欲と態度を養い、基礎・基本を確実に習得して自己実現を図るにふさわしい確かな学力を保証する。
- 2 規範遵守の態度、生命尊重の精神、多様な他者を思いやる優しく豊かな心を涵養する。
- 3 健やかな心身の保持増進を促し、主体的・積極的に地域とグローバル社会に貢献する態度を育成する。

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

◎十分達成した    ○達成した    △おおむね達成した    ▲達成できなかった

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校教育目標は、生徒の実態や保護者、地域住民の願いを踏まえたものとなっているか。	○達成した	◎十分達成した
改善方策	保護者及び地域、そして中学校との連携を今後も大切にし、本校に求められているものは何なのかを把握する。	
中高一貫教育を推進し、STCプログラムの充実と、連携内容を充実できたか。	○達成した コロナ禍で全ての内容を行うことはできなかったが、STCプログラムの生徒の満足度は高かった。	◎十分達成した コロナ禍の中、よく充実させました。
改善方策	今後も中学校と高校のプログラムの見直しや改善を行う。また、外講師の招聘がかなわなかったときの対策を検討する。	
学校だよりやHP等の内容の充実と、情報発信に努めたか。	◎十分達成した ・HPの更新や、公式Instagramを開設した。 ・湧高だより、中高一貫だよりを発行（全戸配布）した。 ・学校PRポスター・パンフレットを配布した。	○達成した HPもInstagramも閲覧しております。これからも発信をお願いいたします。
改善方策	湧高だより、HP、Instagramの有効なすみ分けが必要である。また、部活動の情報を更に発信する。	
学校評価や授業評価等の充実を図り、学校運営や授業改善の活用を図ったか。	○達成した 授業評価、保護者アンケート、自己評価を分析し、改善に取組んだ。	○達成した
改善方策	授業評価、アンケートを受け、ICTの活用を含んだ授業改善に取組む。	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
基礎的・基本的な知識や技能の習得と、それらを活用する学習活動を推進したか。	○達成した 少人数・ＴＴ、個別指導など特色ある指導の充実を図ることができた。	○達成した
改善方策	授業改善や、指導法の研究を進める。また、生徒のやる気を引き出す努力をする。	
生徒理解を深め、教育相談や様々なサポート体制が充実したか。	○達成した ・関係機関と連携を進めた。 ・面談と個に応じた指導計画に基づいて指導した。 ・情報共有を徹底した。	◎十分達成した
改善方策	特別支援に係る研修の充実と指導法研究に努める。	
命を大切にし、他者を思いやる人間性豊かな心を育成する指導が出来たか。	○達成した 効果的な外部講師による指導を行った。	○達成した 生徒の湧別町に感謝する気持ちが素晴らしいと思う。
改善方策	ボランティア活動や地域参画の推進とともに、人権教育を継続して実施する。	
いじめの未然防止や実態把握に努めるとともに、家庭と連携し、学校全体で組織的に対応する体制を築くことができたか。	○達成した いじめ防止に向けた授業を実施し、いじめの未然防止と積極的認知に努めた。	○達成した ネットについて不安を抱える保護者がいる。
改善方策	教員による未然防止や、初期対応に係る研修の実施と、家庭との情報交換を密にする。	
部活動や課外活動の活性化を図り、主体的に行動できる生徒を育成したか。	○達成した コロナ禍の中でも、部活動や生徒会が中心となり主体的に行動することができた。	◎十分達成した できる範囲で最高の部活動を展開している。
改善方策	探究活動などで、全校生徒が主体的に考え、行動する機会を増やす。	
生徒個々の進路目標を明確にさせ、積極的に進路実現を図る生徒の育成に努めたか。	○達成した 湧別町と連携した進路学習や職業体験をとおして、進路実現をすることができた。	◎十分達成した
改善方策	進路目標を実現するため、生徒自身が計画的に取り組むようにする。	
生徒に還元できる教職員の研究・研修体制の充実と教職員の健康管理に努めたか。	△おおむね達成した 業務の優先順位付けや取捨選択が必要である。	○達成した
改善方策	実践的な校内研修の設定と業務の均等化を図り、授業に専念できる環境を整える。	
公表方法	1 ホームページでの公開 2 PTA総会での説明 3 保護者への資料の配付	